



ふれあい

令和6年度9月吉日
京都市立第三錦林小学校
校長 吉岡 健一郎

前期学校評価（7月）の結果より

【確かな学力】

～学ぶ力を十分に引き出し
学びに向かう積極的な姿勢を
育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

「毎日の学習のめあてが達成できている。」という設問では、「よくできている」と回答した子どもが昨年度12月の結果と比べて11%増加しました。子どもたちがその日の授業で目指すめあてを意識し、「できるようになった。」と手応えを感じている様子が伺えます。本校では毎時間学習のめあてを設定し、一つの課題に向かって対話を重ね、子どもたちが自分たち自身の手で協働しながら学習を深めていく授業の進め方を研究しています。引き続き授業改善に取り組み、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えます。

また、「家で進んで学習する習慣がついている。」という設問では、「よくできている」と回答した子どもが昨年度12月の結果と比べて11%増加しました。これに呼応するように「わが子は、意欲的に学習に取り組んでいる。」という設問に対して、「よくできている」と回答した保護者の数も6%増加しています。家での学習というと、宿題のことを指している子どももいれば、塾の課題、予習復習等の自主的な学習を指している子どももいることと思います。いずれにしても子どもたちが家でも前向きに学習に取り組んでいることが伺えます。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
まいにちのがくしゅうのめあてがたっせいできている。	49%	46%	4%	1%	わが子は、学んだことを身につけている。	18%	71%	9%	2%	確かな学力（思考力・判断力・表現力）が身につくようにしている。	17%	78%	5%	0%
よんだりかいたりけいさんしたりするちからがみについている。	60%	35%	4%	1%	わが子は、基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身についている。	23%	62%	13%	2%	基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身につくようにしている。	22%	78%	0%	0%
いえですすんでもがくしゅうするしゅうかんがついている。	51%	32%	14%	3%	わが子は、家庭学習の習慣が身についている。	17%	58%	23%	2%	自主的・計画的な家庭学習の習慣が身につくように工夫している。	11%	61%	22%	6%
じゅぎょううちゅう、しゅうちゅうしてがくしゅうにとりくんでいる。	55%	35%	8%	2%	わが子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	24%	57%	19%	2%	意欲的に学習に取り組めるように工夫している。	22%	72%	6%	0%

【健やかな体】

～生きる力を高める～

「早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べている。」という設問では、「よくできている」「大体できている」と回答した子どもが昨年度12月の結果と比べて7%増加し、91%に達しました。日頃からご家庭でもお声かけいただき、規則正しい生活習慣が確立されていることが伺えます。十分な睡眠時間を確保し、朝ごはんをしっかりとるようにすると、体力や集中力が向上し、よいパフォーマンスが発揮できます。

「進んで運動している。」という設問では、「よくできている」と回答した割合が、子ども・保護者ともに増加しました。体力が向上し、体を動かす意欲が高まっている様子が伺えます。また、上欄の「授業中、集中して学習に取り組んでいる。」という設問に対して、90%の子どもたちが「よくできている」「大体できている」と回答しています。集中力が持続し、粘り強く学習に取り組めている様子が伺えます。子どもたちが学習にも励み、運動も楽しみ、充実した学校生活を送っているのは、ご家庭で生活習慣を整えてくださっている賜物です。学校でも早寝・早起き・朝ごはんを呼びかけ、今後も子どもたちがよりよい生活習慣を意識して生活できるよう努めていきたいと考えます。

子ども				保護者				教職員						
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
はやね・はやおきをして、あさごはんをしっかりたべている。	54%	37%	7%	2%	保護者は、わが子が早寝・早起きをして朝ごはんをしっかり食べられるようにしている。	32%	55%	12%	1%	基本的な生活習慣が定着するように取り組んでいる。	17%	66%	17%	0%
そうじやせいりせいとんをきちんとしている。	48%	38%	11%	3%	学校は、清掃等が行き届き、整理整頓がされている。	30%	66%	3%	1%	校内の美化に向けて、積極的に取り組んでいる。	17%	72%	11%	0%
すすんでうんどうしている。	62%	28%	7%	3%	わが子は、進んで運動している。	42%	40%	17%	1%	進んで運動できる工夫をしている。	17%	72%	11%	0%

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、夏休み前の学校評価にご協力いただきありがとうございました。また同時期、子どもたちには日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。

私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、7月の結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題について分析し、今後の取組に生かしていきたいと思います。

【豊かな心】

～豊かな人権感覚を育てる～

A…よくできている B…大体できている
C…あまりできていない D…できていない

「自分から進んであいさつをしている。」という設問では、「よくできている」「大体できている」と回答した子どもが昨年度12月の結果と比べて6%増加し、96%に達しました。一方保護者では「あまりできていない」「できていない」との回答が24%あり、認識のズレが見られます。子どもたちはほとんどの子ができていると自覚していますが、4分の3の保護者は不十分だと感じていることが伺えます。外ではちゃんとしているけれど、家では疎かにしているのか、自分ではちゃんとしているつもりだけれど、大人から見ると不十分なのか。あいさつは互いに気持ちよく過ごすための第一歩です。自分がしたかどうかではなく、相手がどう受け取ったかが大切だということを、今一度、子どもたちと確かめていきたいと考えます。

また、「学校に来るのが楽しい。」という設問では、「あまりできていない」と回答した子どもが13%いるのに対して、保護者は8%です。このことから、5%の子どもは学校に行くのが楽しくないが、そのことに保護者や教師が気付いていないことがわかります。現に「困ったことは先生や家族に相談している。」という設問に、19%の子が「あまりできていない」「できていない」と回答しています。その子たちの困りをいかにキャッチするのか。子どもと会話する機会を積極的に設けながら、関係性を築いていくことの必要性を改めて感じました。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
じぶんからすんとあいさつをしている。	69%	27%	2%	2%	わが子は、自分から進んで挨拶をしている。	21%	55%	22%	2%	進んで挨拶できるように取り組んでいる。	33%	56%	11%	0%
がっこうにくるのがたのしい。	54%	30%	13%	3%	わが子は、学校にいくのが楽しいと言っている。	44%	45%	8%	3%	子ども一人一人を大切にする学校づくりをしている。	50%	50%	0%	0%
ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	70%	28%	1%	1%	わが子は、友達を大切にし、仲良くしている。	53%	45%	2%	0%	友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	39%	50%	11%	0%
こまつことはせんせいやかぞくにそだんしている。	49%	32%	14%	5%	保護者は、わが子と会話する時間を持っている。	33%	59%	8%	0%	子どもと会話する機会を積極的に設けている。	56%	44%	0%	0%

【独自の取組】

～子どもたちの主体的な学びを目指して～

今年度より、学校だより等の全校配布のおたよりについては「すぐーる」を使って配信するようになり、子どもが持ち帰るおたよりそのものが随分減りました。データ配信にかわったことを、保護者の皆様はどう受け止めているのでしょうか。「保護者は、ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を理解している。」という設問に対して、「よくできている」「大体できている」と回答した保護者は昨年12月とほとんど変わっていません。一方で個人懇談会のオンライン予約を導入したことについて、「とても良かった。」「今後も続けてほしい。」等の声を個別にいただきました。今後もさらなるオンライン化を進め、利便性を高めていきたいと考えています。

また、「進んで読書をしている。」という設問では、「よくできている」と回答した子どもが17%増と大きく増えました。一方で保護者は昨年12月とほぼ変わらず、約4割の保護者が「できていない」「あまりできていない」と回答しています。学校では朝読書の活動や国語科での並行読書の取組などで、日常的に読書に取り組んでいるものの、家庭では読書の習慣がないことが伺えます。読書は心を豊かにします。ゲームやテレビなど情報にあふれた社会ですが、ときにはじっくりと活字に向き合うことも大切にしてほしいと願っています。

子ども					保護者				教職員					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
がっこうからのおたよりをおうちのひとにわたしている。	56%	28%	15%	1%	保護者は、ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を理解している。	17%	75%	8%	0%	学校ホームページや学年(学級)だより等によって学校の取組を発信している。	12%	47%	29%	12%
いえやがっこうのルールをまもっている。	56%	39%	3%	2%	わが子は、家庭や学校のルールを守っている。	25%	69%	5%	1%	学級や学校のルールを守ることができるように取り組んでいる。	33%	61%	6%	0%
じぶんのよいところがいえる。	34%	40%	17%	9%	保護者は、子どものよさを認め、ほめている。	25%	68%	7%	0%	子どものよさを認め、ほめている。	44%	50%	6%	0%
すすんでくしょをしている。	63%	24%	10%	3%	わが子は、読書に親しんでいる。	21%	36%	30%	13%	意欲的に読書ができる工夫をしている。	12%	70%	18%	0%

～自由記述から～

☆「人権学習に取り組まれているところがすばらしいと思っています。子ども自身が持っている、子どもの権利についての学習をしていただけたら嬉しいです。まず自分に人権があるのだと知ることは、とても大切だと思います。」

★あたたかいお言葉、ありがとうございます。本校では「豊かな人権感覚を育てる」ことを学校教育目標にも掲げ、大切にしています。子どもの権利も含めて様々な人権問題をテーマに取り上げ、豊かな人権感覚を養うことに今後も取り組んでいきます。

上記のほかにも多数、ご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。ご意見・ご感想にすぐに対応することができない部分もありますが、いただいたご意見等を真摯に受け止めなければと感じております。今回のアンケート結果を今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、お願ひいたします。